

☆IAEA 耐震問題パネル☆

IAEA(国際原子力機構)主催の、“原子力施設の耐震性に関するパネル”が6月12日～16日の間、東京において開催された。日米はじめ7か国より34名が出席した。議長団として、Cal. Tech.(米) Housner 教授と建築研、久田所長が選ばれ、最初2日間で22編の論文が発表された。その後、3小委員会にわかれて、個別に問題を討議し、日米それぞれの現状、共通の状況、将来への問題点にわけ報告案を作成した。将来の問題点としては、活断層から配管の実験まで10項目以上のことがらがあげられた。本所から第1部岡本教授、第2部柴田助教授が参加した。また、これに出席された Univ. of Calif., Seed 教授, Univ. of Ill., Newmark 教授が関係研究室を来訪された。

☆著 書☆

◇助教授 三木五三郎(編著)「地盤調査の実務」オーム社(1967. 6. 30).

☆講 演☆

◇助教授 妹尾 学「不可逆過程の熱力学とレオロジー」東大宇宙航空研レオロジー研究会において(1967. 7. 10).
 ◇教授 藤高周平, 助教授 河村達雄, 電気試験所 鶴見策郎, 近藤 滉, 電力中央研究所 瀬田泰助, 東京芝浦電気株式会社 山本充義, “Japanese Method of Artificial Pollution Test on nsulators”. Summer Power Meeting of the IEEE, Portland, Oregon, U. S. A. において(1967. 7. 14).

◇教授 藤高周平, 助教授 河村達雄, 電力中央研究所 広瀬 胖, 電気試験所 鶴見策郎, 大下勝弘. “Report on the Lightning Flash Counter Measurement for the 1966 Lightning Season in Japan”. CIGRE Study Committee No. 8, Working Group on Lightning Flash Counter, Copenhagen, Denmark において(1967. 7. 22—23).

◇教授 藤高周平, 助教授 河村達雄, “Thunderstorm Alarm System Using the Lightning Flash Counter developed by Shikoku Electric Power Co.”. CIGRE Study Committee No. 8, Working Group on Lightning Flash Counter, 同上, (同上).

☆海外渡航☆

◇第3部 尾上守夫教授は、チェコスロバキア、プラハにおいて開催される I. E. C 会議に出席し、あわせて欧州各国の大学を訪問し超音波工学上の調査研究のため6月30日出発し、7月26日帰国。

◇第5部 坪井善勝教授は、米国ハワイ大学において建築構造学上の諸問題について調査研究のため7月16日出発し、7月31日帰国の予定。

◇第5部 星野昌一教授は、米国およびカナダならびに欧州各国における高層建築物およびプレハブ建築の防火対策の研究調査のため7月15日出発し、8月23日帰国の予定。

☆所内人事☆

◇第4部 久保靖助手は特別研究員を命ぜられた(1967. 7. 1)



表 紙 東京都心の冬の SO₂ 汚染について調べ、その原因の一つと思われる。暖房汚染源による SO₂ 濃度分布推定図を求めた。(本文 15 ページ参照)

研究解説

有限オートマトンの代数的性質 ——デジタル機械の数学的表現——	森 協 義 雄 河 田 汎	1
レーザを使用した超高压変流器	齊 藤 成 文 浜 崎 襄 二 藤 井 山 一 横 山 嗣 大 野 豊	8
東京都心の大気汚染と暖房	勝 田 高 司 野 田 耕 臣	15

研究速報

誘導ブリュアン散乱による液体の音速の測定	鳥 銅 安 生 根 岸 勝 雄 山 崎 正 之	23
吸収電子測定法によるジルコニウムへの酸素侵入曲線の観察	本 間 禎 一	25
金属一酸化物半導体構造(MOS ダイオード)の容量—電圧特性曲線に及ぼすバイアス・温度処理の影響	堀 内 重 治 栗 原 由 紀 安 達 芳 夫	26
副共振に起因する水晶発振器の二重発振の一例	高 木 幹 雄 藤 本 洋	28